


幸水の果実肥大予測～第1報～(満開後40日:6月3日発表)

農業試験場の収穫時横径は89.7mm(平年比94%)、果重388g(平年比92%)と平年より小さいと予測されます。
また、収穫始の果実は32・28玉中心、収穫盛でも32玉・28玉中心の玉流れになると予測されます。

栃木県農業試験場

日射量予想 	6月	平年並	→平年と同様に曇りや雨の日が多い
	7月	やや少ない	→平年に比べ曇りや雨の日が多い
	8月	平年並	→平年と同様に晴れの日が多い
	9月		

※宇都宮地方気象台発表の5/25時点での3ヶ月予報より

※平年の晴れの日 6月は11日 7月は14日 8月は18日 9月は13日

満開後40日の果実横径をもとに、果実肥大予測モデルから推定した

農業試験場内での果実横径予測

満開後日数	2016	平年	平年比	前年比
30	22.5mm	22.3mm	101%	98%
40	29.6mm	28.5mm	104%	99%
50	34.3mm	33.6mm	102%	97%
60	39.0mm	38.7mm	101%	94%
70	44.4mm	44.6mm	100%	92%
80	53.6mm	53.9mm	99%	92%
90	64.2mm	64.5mm	100%	93%
100	73.7mm	75.3mm	98%	92%
110	81.6mm	84.5mm	97%	92%
収穫時	89.7mm	95.1mm	94%	92%
果重	388g	420g	92%	84%

※40日までは実測値、50日以降は予測値

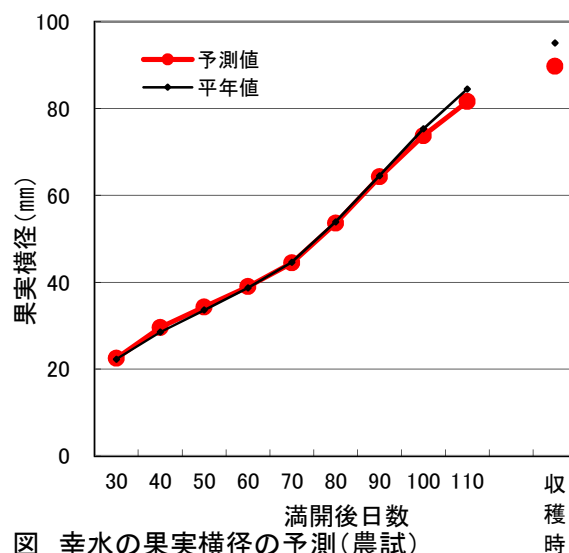


図 幸水の果実横径の予測(農試)

	予測月/日	満開後日数	横径	果重	体積
収穫始	8/15	117日	85.1mm	364g	302
32玉・28玉中心					
収穫盛	8/27	129日	89.7mm	388g	352
32玉・28玉中心					



備考

- ・満開後40日時点(5/30)での、幸水の果実横径は29.6mm(平年比104%)と平年より大きく推移しています。
- ・季節予報による6月～8月の天候から、今後の果実肥大を予測すると、開花後の高温により成熟日数が短くなるため収穫時横径は90.3mm(平年比95%)、果重388g(平年比92%)と平年より小さいと予測されます。
- また、収穫始の果実は32・28玉中心、収穫盛でも32玉・28玉中心の玉流れになると予測されます。
- ・なお、果実肥大は気象状況や栽培管理により変化します。今後の気象や肥大の推移に注意してください。

※幸水の果実肥大予測は、細胞分裂停止期(概ね満開後33日)の果实体積とその後の日射量および生育ステージにより変化するパラメーターから計算しています。

このプログラムは、栃木県内のナシの発育を予測するものであり、県組織(試験場)でのみ使用できます。他者及び外部組織への譲渡・利用は厳禁とします。また、プログラムの複製、改良を行う場合には必ず制作者への連絡を厳守して下さい。

制作：栃木県農業試験場 研究開発部 果樹研究室 Tel 028-665-7143
：(独)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 栽培・利用研究領域 Tel 029-838-6506

各診断ほの肥大予測(幸水)

診断ほ 満期後日数	農試		平均		県平均平年値
	本年	平年比	本年	平年比	
30	22.5mm	101%	22.0mm	99%	22.1
40	29.6mm	104%	28.4mm	100%	28.3
50	34.3mm	102%	32.4mm	97%	33.4
60	39.0mm	101%	37.0mm	96%	38.5
70	44.4mm	100%	42.9mm	#####	
80	53.6mm	99%	51.8mm	#####	
90	64.2mm	100%	62.7mm	98%	64.2
100	73.7mm	98%	73.5mm	98%	75.3
110	81.6mm	97%	82.2mm	#####	
収穫時	89.7mm	94%	88.9mm	94%	94.3
果重	388g	92%	353g	86%	409

※40日までは実測値、50日以降は予測値